

仙台市の財政状況

平成28年10月





目次

仙台市の概要

仙台市の概要	1
トピックス① 地下鉄東西線	2
トピックス② 「防災環境都市・仙台」	3
市政運営の方針	4
復興計画の概算事業費	5
復旧・復興に向けた財源確保	6

予・決算の状況

平成28年度予算の重点施策	7
一般会計当初歳入予算の推移	8
一般会計当初歳出予算(性質別)の推移	9
一般会計歳入決算の推移	10
一般会計歳出決算(性質別)の推移	11
実質収支の状況(普通会計決算)	12
プライマリーバランスの状況(普通会計決算)	13
平成27年度特別会計決算の概要	14
平成27年度企業会計決算の概要	15

財政指標

健全化判断比率・資金不足比率	16
財政力指数・経常収支比率等	17
市債発行の状況(一般会計＋特別会計)	18
普通会計市債残高の推移	19
市民一人当たり市債残高(普通会計)	20
一般会計公債費の推移	21
各種基金の状況	22
主な基金残高の推移	23
基金残高の他都市比較(普通会計)	24

行財政改革・財政見通し等

仙台市行財政改革推進プラン2016	25
外郭団体の状況	26
外郭団体の平成27年度決算状況	27
土地開発公社の状況	28
仙台市公共施設総合マネジメントプラン	29
今後の財政見通し(普通会計ベース)	30
平成28年度市場公募地方債発行計画	31

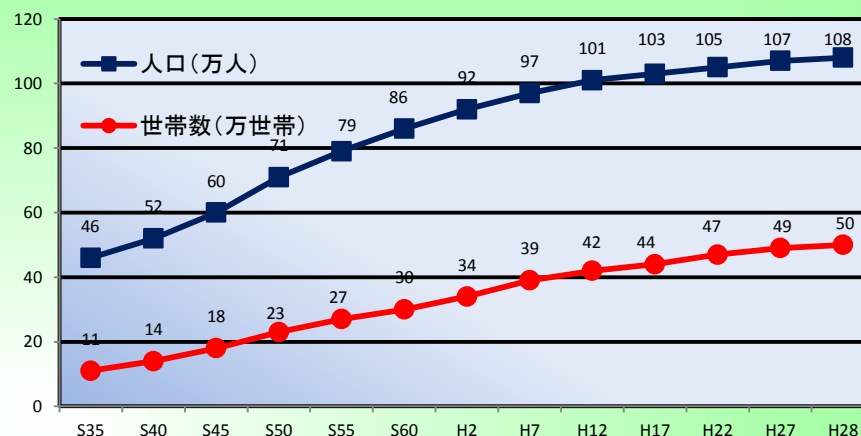
本資料は、仙台市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、仙台市の財政状況について説明することを目的とするものです。
なお、内容は、平成28年10月時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

仙台市の概要



仙台市は、1600年に伊達政宗公が居城を定めて以来、雄藩の城下町として栄え、平成元(1989)年に東北で初めての政令指定都市となりました。「杜の都」と呼ばれる豊かな自然環境、「学都」としての高度な研究開発機能を有し、東北の政治・経済・学術・文化の中枢都市として発展してきました。

- 人口 約108万人(平成28年10月1日現在推計人口)
- 世帯数 約50万世帯
- 面積 786.30km²
- 気候 太平洋に面した海洋性気候
寒暖の差が少ない
- アクセス 東京から新幹線で約1時間半
国内8都市、海外5都市と空路で結節
- 経済 市内総生産(名目): 約4兆8,904億円(平成25年度)
年間商品販売額: 約7兆9,188億円(平成26年商業統計)
- 年間観光客数 約2,229万人(平成27年)



(春) 仙台・青葉まつり



(夏) 仙台セタまつり



(秋) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル



(冬) SENDAI光のページェント



トピックス①

地下鉄東西線

☆復興と未来のシンボル・地下鉄東西線

地下鉄東西線の開業により、地下鉄南北線やJR線とともに安全性や定時性等に優れた環境にやさしい交通ネットワークができました。交通渋滞の緩和はもちろん、市民の行動範囲が広がったことで、新たな交流が生まれ、都市文化やビジネスの育成・地域の活性化なども大きく期待されます。



区間: 八木山動物公園駅～荒井駅
 営業キロ: 約13.9km
 総建設費: 2,298億円
 機種: リニアモーター地下鉄
 開業: 平成27年12月6日



地下鉄東西線事業の財政的裏づけ ※平成24年度の事業再評価時の額

総建設費 2,298億円		
国 519億円	仙台市 1,038億円	交通局 741億円
仙台市（一般会計）が起債し調達する 元金 1,038億円 利息 457億円 返済総額 1,495億円 （うち45%が国から地方交付税として交付される）		交通局が起債し調達する 元金 741億円 利息 216億円 返済総額 957億円
519億円	673億円	822億円
957億円		
国の実質総負担 1,192億円	仙台市の実質総負担 822億円	交通局の実質総負担 957億円



ICカード乗車券 icscA



トピックス②

「防災環境都市・仙台」

☆震災の経験と教訓を生かして、防災と環境配慮を「主流化」したまちづくりを進めています

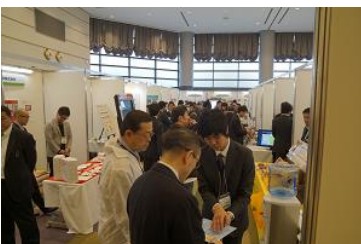
本市のまちづくりは、1960年代以降の衛生や公害問題への対応など、都市環境への脅威に向き合い、良好な環境を作り上げてきた歴史でもあります。一方で、東日本大震災を経験し、都市がさまざまな災害の脅威にさらされていることを改めて認識しました。

この教訓を踏まえて、本市では、将来の災害や気候変動リスクなどの脅威にも備えた「しなやかで強靱な都市」を目指し、市民の生活、経済活動の安全・安心や快適性が高い水準で保たれている都市をつくります。

また、震災と復興の経験と教訓を継承し、市民の防災文化として育てるとともに、地域・NPO・企業・研究機関などのマルチステークホルダーの取り組みを国内外に発信し、世界の防災文化への貢献と、快適で防災力の高い都市としてのブランド形成を目指します。



震災遺構として保存される荒浜小学校



仙台防災未来フォーラム2016(H28.3)

震災復興の
経験・教訓

「杜の都」の
環境づくりの歴史



復興の取り組み

- 被災者の生活再建
- 津波多重防御
- 農業再生、みどりの再生

防災と環境に配慮した 「まち」づくり

- インフラ強靱化
- エネルギー自律型都市
- 低炭素都市づくり

防災と環境に配慮した 「ひと」づくり

- 「防災人」育成
- コミュニティ防災力強化
- 震災復興メモリアル



中野五丁目津波避難タワー



仙台市地域防災リーダー(SBL)の養成

国内外への発信

交流・投資の促進

世界の防災文化への貢献・都市ブランドの確立

市政運営の方針



基本計画

【平成23年度～平成32年度】

【本市が目指すべき都市像の実現を牽引する4つの重点政策】

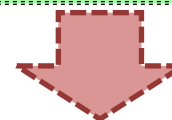
- －学びを多彩な活力につなげる都市づくり
- －地域で支え合う心豊かな社会づくり
- －自然と調和した持続可能な都市づくり
- －人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

【本市が目指すべき都市像の実現に向けた4つの経営方針】

- －未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進
- －地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進
- －地方の時代を先導する市役所への自己変革
- －公共施設の経営改革

震災復興計画

【平成23年度～平成27年度】



政策重点化方針2020

【平成28年度～平成32年度】

3つの政策重点化方針

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり |
| 2 | 社会のイノベーションを生み人口減少に挑むまちづくり |
| 3 | 東西線開業を契機とした都市の楽しさを創造するまちづくり |

実施計画

【平成28年度～平成30年度】



重点的な取り組み

戦略プロジェクト

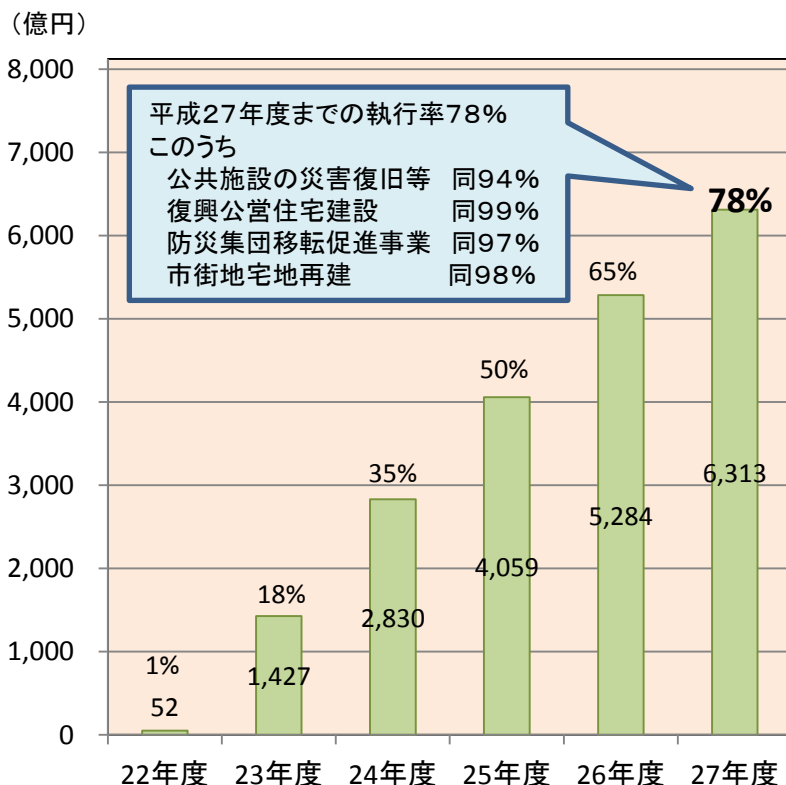
- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 防災環境都市づくり | 5 まちの活力の源泉となる人材の定着・確保推進 |
| 2 東部被災地域の総合的復興 | 6 未来につなぐ子どもを育む環境づくり |
| 3 地域の成長を牽引する企業・産業の創出 | 7 多様な暮らしを支える生活環境づくり |
| 4 まちに賑わいをもたらす新時代の交流促進 | 8 地下鉄沿線を舞台とした活力を創出するまちづくり |



復興計画の概算事業費

概算事業費 約8,123億円(平成28年8月現在)

年度ごとの復旧・復興事業の進捗率



平成28年度以降に要する概算事業費

(億円)

I 災害救助費関連	34
II 公共施設復旧等	146
III 復興・再生事業	1,630
・津波防災・住まい再建プロジェクト	563
・市街地宅地再建プロジェクト	6
・生活復興プロジェクト	27
・農と食のフロンティアプロジェクト	18
・海辺の交流再生プロジェクト	47
・防災・仙台モデル構築プロジェクト	10
・仙台経済発展プロジェクト	695
・震災メモリアルプロジェクト	55
・その他	207

平成27年度までに復興公営住宅等の住まいの再建は概ね完了。平成28年度以降に要する事業費は1,810億円で、そのうち本市の負担総額は289億円となる見込み(市債及び震災復興基金を除く実質的な一般財源は33億円)。



復旧・復興に向けた財源確保

国からの主な財政支援

【東日本大震災復興交付金】

著しい被害を受けた地域の速やかな復興のために、被災した地方公共団体が自らの復興プランの下で進める地域づくりを財政面で支援することを目的に創設されたもの。

○交付額 約1,955億円(平成28年10月1日現在までの累計)

○主な事業 災害公営住宅整備事業、造成宅地滑動崩落緊急対策事業、防災集団移転事業、東部復興道路整備事業、被災地域農業復興総合支援事業 等

【震災復興特別交付税】

被災地の復旧・復興に向けた国庫補助事業等の地方負担分を実質ゼロとすることや、税や使用料・手数料などの減免分を補てんすることを目的に措置されているもの。

○交付額 平成23～27年度決算:約1,191億円、平成28年度予算:約107億円

○対象経費 直轄・補助事業の地方負担分、単独災害復旧事業、地方税等の減収分、風評被害対策経費 等

仙台市震災復興基金の活用

本市独自の基金である「**仙台市震災復興基金**」に、寄附金や宝くじ収入(復興支援分)、宮城県からの交付金等を積み立て、復興事業の財源として活用。

<平成27年度決算までの積立額累計>

寄附金	約 25億円
宝くじ収入(復興支援分)	約 28億円
東日本大震災復興基金交付金※1	約 58億円
東日本大震災復興基金交付金(津波被災住宅再建支援分)※1	約 35億円
宮城県東日本大震災復興交付金(被災地域農業復興総合支援事業)	約 18億円
職員給与地域手当削減分	52億円
その他	約110億円
計	約327億円※2



※1 特別交付税等を財源とした、宮城県の「取崩し型復興基金」から県内市町村に配分

※2 四捨五入の関係で内数の合計額とは一致しない

※3 23年度(0.4億円)、24年度(33.2億円)、25年度(27.3億円)、26年度(39.1億円)、27年度(28.7億円)に取り崩し



平成28年度予算の重点施策

ー「わたしたちが開く、新しい仙台」の実現へー

平成28年度予算では、復興の先の未来を見据え、今後5年間で重点的に取り組むべき戦略「政策重点化方針2020」を策定しました。本年度は、基本計画に掲げる4つの重点政策と、復興事業の総仕上げとなる「復興まちづくり」を柱とし、以下の施策や事業を展開しています。

学びを多彩な活力につなげる都市づくり

※（ ）内の数字の単位は百万円

文化振興(736) 仙台国際音楽コンクール開催(275) 音楽ホール整備検討調査(20) せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業(30) 八木山動物公園整備(169) 学都推進(6) 確かな学力育成(1,677) いじめ防止対策推進(238) 学校教育施設整備(8,044) 学校支援地域本部(40) 学校給食センター整備事業(180) 給食センター対象校アレルギー対応拡充(25) 陸奥国分寺跡等整備(470) など

地域で支えあう心豊かな社会づくり

すこやか子育てプラン推進(32,385) 保育基盤等の整備(25,791) 市民健康づくり推進(6,343) 介護サービス基盤整備促進(2,226) 高齢者・障害者保健福祉の推進(25,720) 男女共同参画の総合的推進(608) 市営住宅建設等(2,918) 緊急輸送道路防災対策(1,811) 上水道施設災害対策(7,518) 下水道地震対策・長寿命化(5,402) 下水道浸水対策(9,749) 都市ガス防災対策強化(1,102) など

自然と調和した持続可能な都市づくり

低炭素都市づくり推進(303) ごみ減量・リサイクル推進(3,737) 百年の杜づくり推進(745) 機能集約型市街地の形成と良好な郊外居住地域づくり(1,488) ストック活用型都市再生推進(18) まち再生・まち育て活動支援(5) 東西線フル活用プラン推進(324) 杜の都の自転車プラン推進(1,722) 東西線関連道路整備(1,735) 都市計画街路整備(5,897) 道路新設改良(16,696) 橋りょう整備(2,294) 土地区画整理(9,419) など

人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

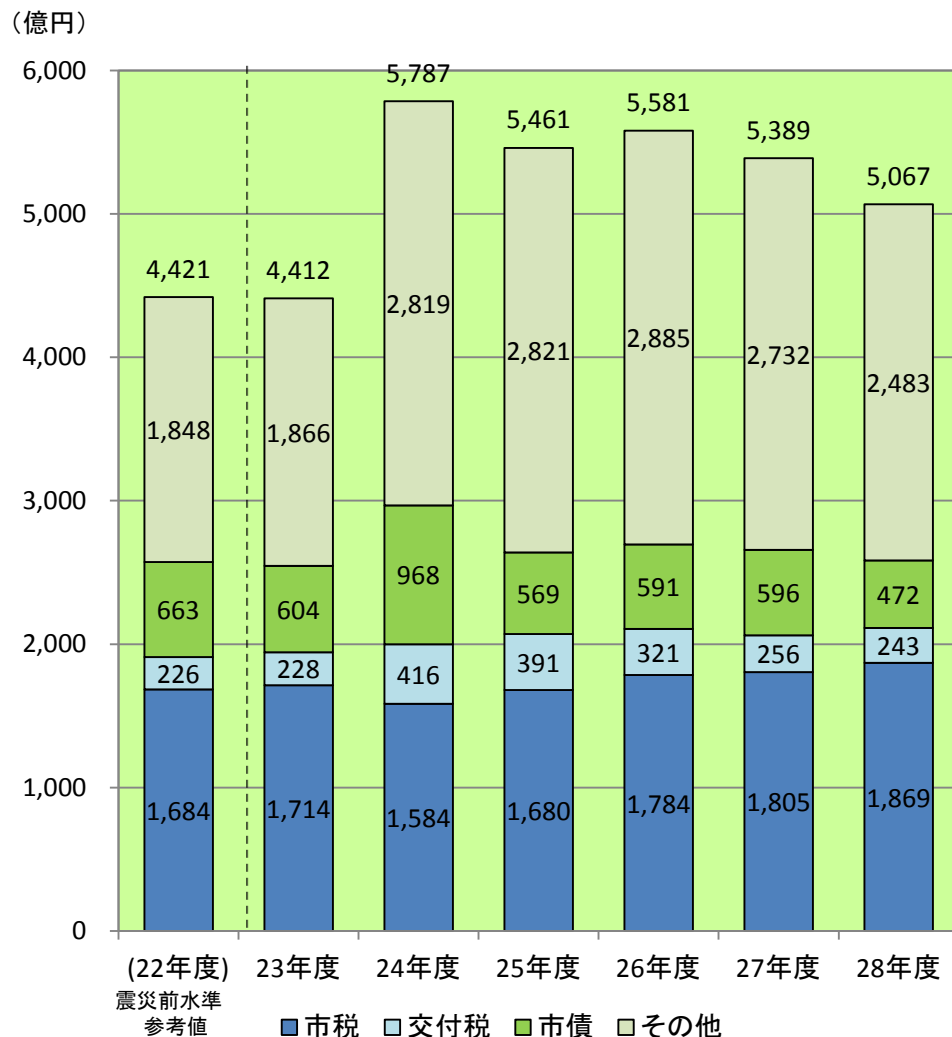
産業活性化・雇用対策推進(24,571) 国家戦略特区(20) 中小企業経営基盤強化(678) 起業支援(41) クリエイティブ産業振興(63) 緊急雇用対策(660) 観光振興(1,877) インバウンド推進(78) コンベンション誘致・受入環境整備(88) 農林業振興(1,526) スポーツ推進(344) 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ交流推進(7) 青葉山公園整備(289) 公園整備(2,514) など

復興まちづくり

暮らしや経済の再建に向けた取り組み(12,672) 安全・安心確保の取り組み(9,860) 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み(496) 暮らしを支える公共施設等の復旧(6,379)



一般会計当初歳入予算の推移



【28年度当初歳入予算の概要】

①市税(構成比36.9%)

固定資産税の増加等により、**対前年度比+3.5%(約64億円増)**となっています。

②地方交付税(同4.8%)

市税の増加による普通交付税の減少等により、**対前年度比△5.1%(約13億円減)**となっています。

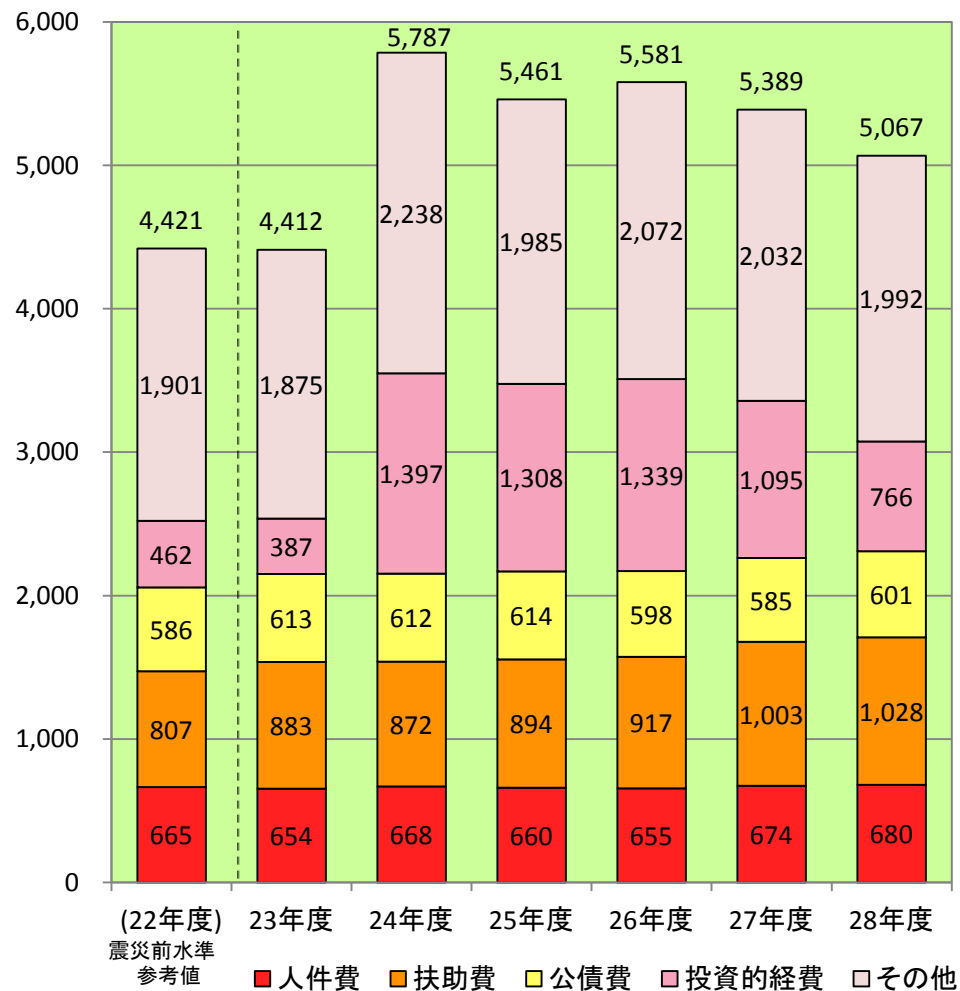
③市債(同9.3%)

地下鉄東西線建設事業がおおむね完了したことなどにより、**対前年度比△20.8%(約124億円減)**となっています。



一般会計当初歳出予算(性質別)の推移

(億円)



【28年度当初歳出予算の概要】

①義務的経費(構成比45.6%)

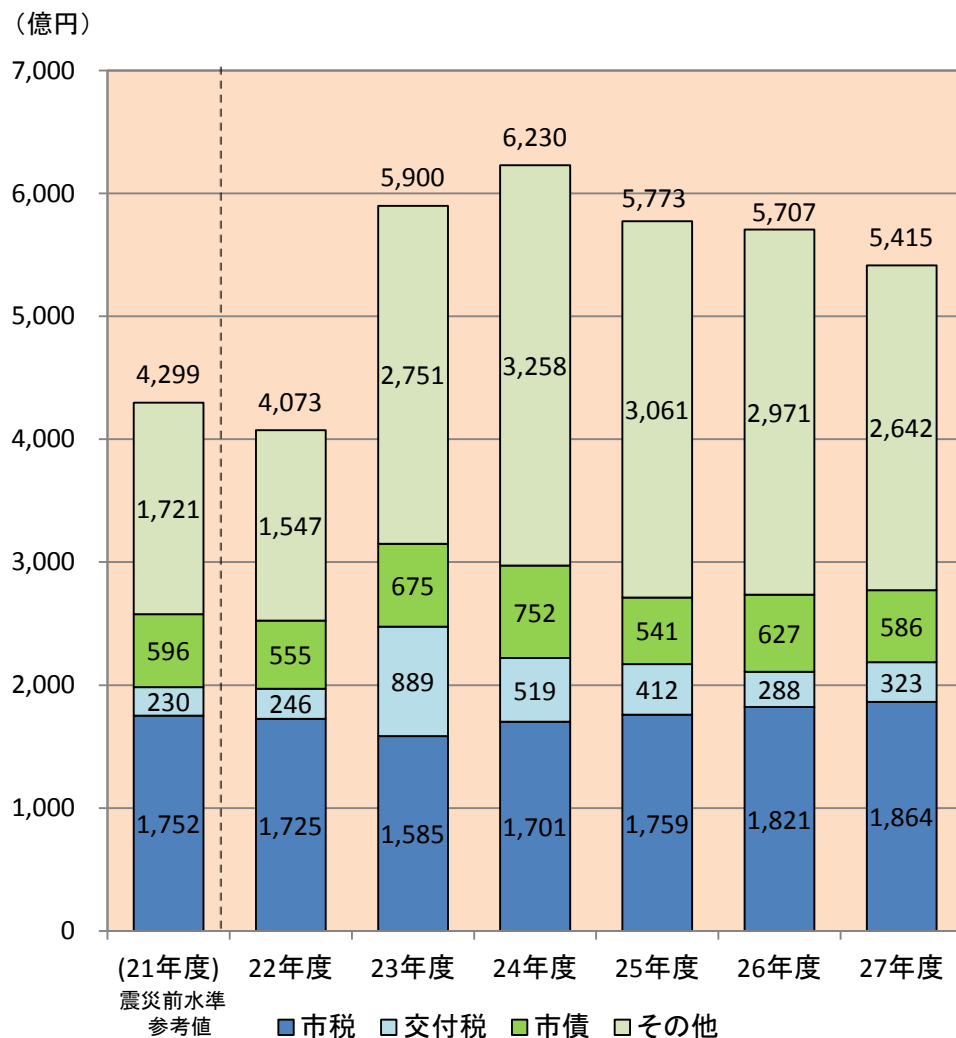
人件費・扶助費・公債費の合計である義務的経費は、私立保育所運営委託費等の扶助費が増加したことなどにより、**対前年度比+2.1%(約47億円増)**となっています。

②投資的経費(同15.1%)

復興公営住宅建設等の復興事業が進んだことなどにより、**対前年度比△30.0%(約329億円減)**となっています。



一般会計歳入決算の推移



【27年度歳入決算の概要】

①市税(構成比34.5%)

個人市民税の増加等により、**対前年度比+2.4%(約43億円増)**となり、平成23年度以降、**4年連続の増加**となりました。

②地方交付税(同6.0%)

直轄・補助事業における地方負担額の増加等による震災復興特別交付税の増加等により、**対前年度比+12.2%(約35億円増)**となりました。

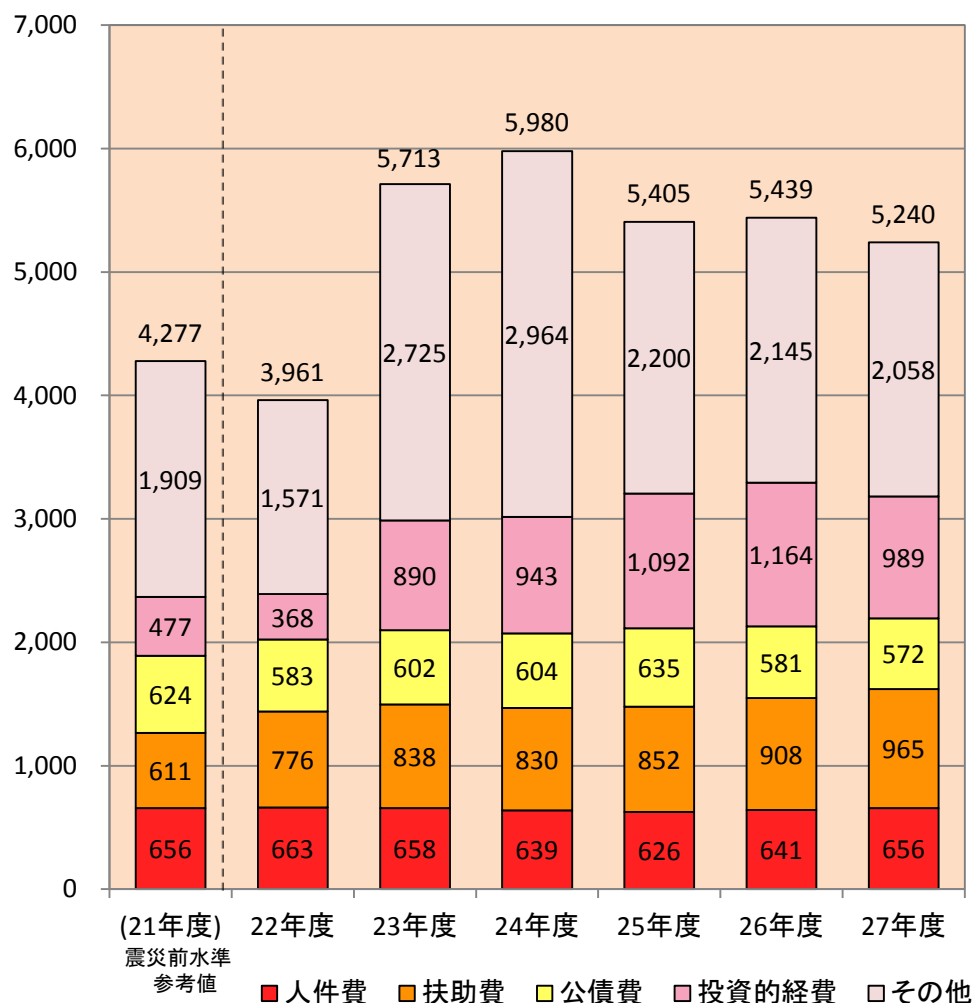
③市債(同10.8%)

復興公営住宅建設にかかる市債の減少などにより、**対前年度比△6.5%(約41億円減)**となりました。



一般会計歳出決算(性質別)の推移

(億円)



【27年度歳出決算の概要】

①義務的経費(構成比41.8%)

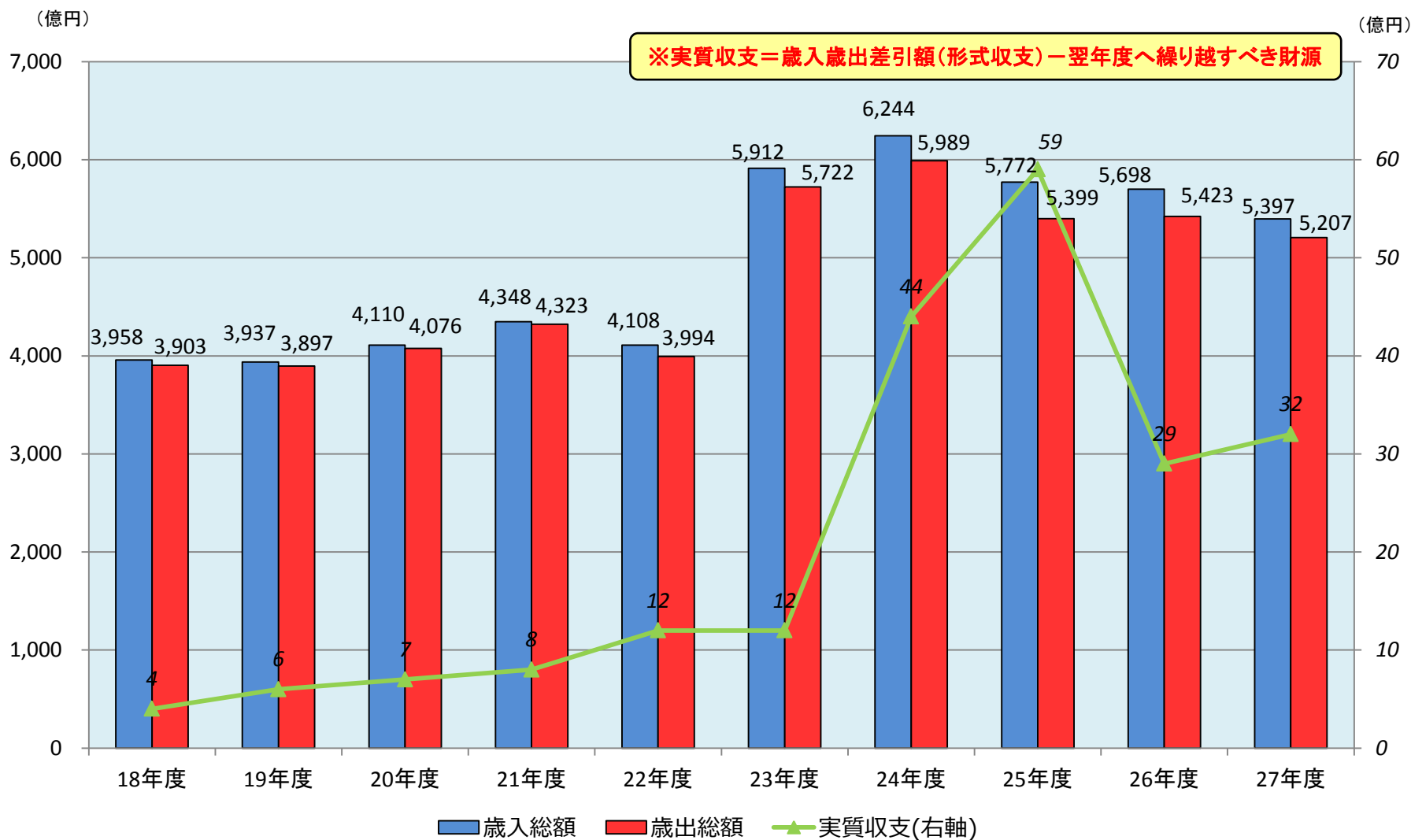
人件費、扶助費及び公債費を合計した義務的経費は、**対前年度比+3.0%(約63億円増)**となりました。

扶助費が対前年度比+6.3%(約57億円増)、公債費が対前年度比△1.5%(約9億円減)となっています。

②投資的経費(同18.9%)

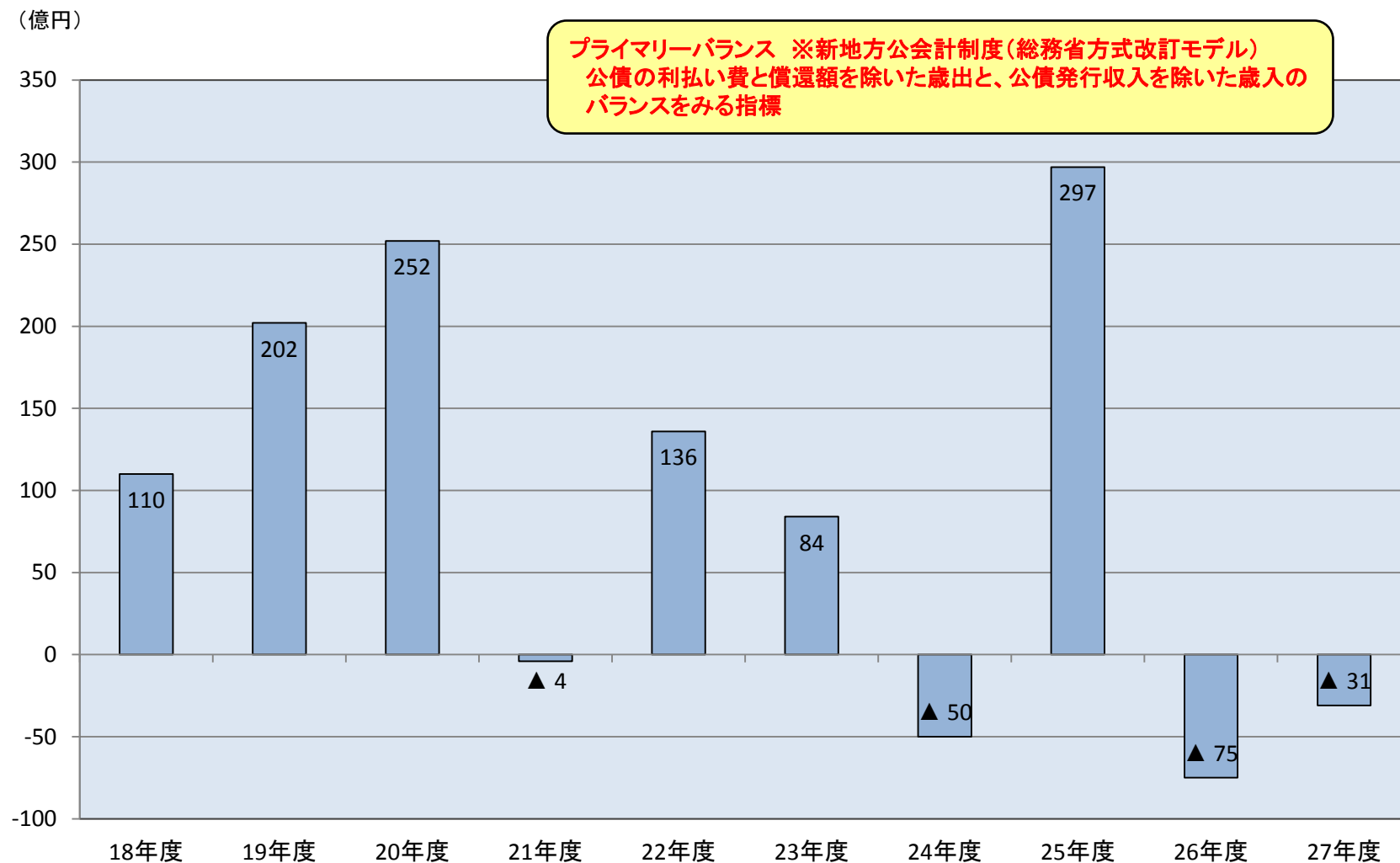
復興公営住宅建設事業のピークが過ぎたことなどにより、**対前年度比△15.0%(約175億円減)**となりました。

実質収支の状況 (普通会計決算)





プライマリーバランスの状況 (普通会計決算)





平成27年度特別会計決算の概要

仙台市では10の特別会計を設けています。いずれも実質収支は均衡又は黒字となっています。

(単位:百万円)

会 計 名	歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C(A-B)	翌 年 度 繰越財源 D	実質収支 C-D	会 計 の 概 要
都 市 改 造	6,606	5,175	1,431	1,240	191	市施行土地区画整理事業等の実施
国 民 健 康 保 険	115,821	113,108	2,713	0	2,713	国民健康保険事業の運営
中 央 卸 売 市 場	5,546	5,529	17	17	0	中央卸売市場の整備・管理運営
公 共 用 地 先 行 取 得	1,708	1,708	0	0	0	公共用地の先行取得
駐 車 場	242	197	45	0	45	市営駐車場の管理運営
公 債 管 理	127,602	127,602	0	0	0	公債償還の管理
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付	331	89	242	0	242	母子世帯等への福祉資金の貸付
新 墓 園	807	755	52	1	51	いずみ墓園の整備・管理運営
介 護 保 険	65,706	64,494	1,212	0	1,212	介護保険事業の運営
後 期 高 齢 者 医 療	10,485	10,420	65	0	65	後期高齢者医療事業の運営
特 別 会 計 合 計	334,854	329,077	5,777	1,258	4,519	



平成27年度企業会計決算の概要

仙台市では6の企業会計を設けています。公益性と事業性のバランス確保のため、不断の経営努力を重ねています。

(単位:百万円)

区 分		下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合 計
収益的 収 支	収 入 A	35,255	10,300	19,512	29,712	42,578	15,314	152,671
	支 出 B	31,476	10,729	16,476	26,103	37,938	16,010	138,732
	差 引 C=A-B	3,779	△ 429	3,036	3,609	4,640	△ 696	13,939
当 年 度 純 損 益 (税 抜)		3,245	△ 502	1,845	3,033	3,266	△ 696	10,191
未 処 理 剰 余 金 (△ 欠 損)		2,626	△ 4,821	△ 87,724	3,033	△ 12,547	△ 7,104	△ 106,537
資本的 収 支	収 入 D	37,970	1,515	34,939	5,559	2,834	4,136	86,953
	前・翌年度支出 の財源充当額 E	185	0	0	0	0	0	185
	支 出 F	49,236	1,961	44,897	13,731	9,621	4,511	123,957
	差 引 G=D-E-F	△ 11,451	△ 446	△ 9,958	△ 8,172	△ 6,787	△ 375	△ 37,189
補 て ん 財 源 H		20,605	△ 17	6,830	15,055	9,500	3,392	55,365
資 本 費 負 担 緩 和 債 I		0	0	827	0	0	0	827
災害復旧事業債 (営業費用充当分) J		0	0	0	0	0	0	0
他 会 計 長 期 借 入 金 K		0	0	663	0	0	0	663
当年度末資金剰余額 _=G+H+I+J+K		9,154	△ 463	△ 1,638	6,883	2,713	3,017	19,666
(参考) 一般会計からの繰出金		13,384	2,830	15,037	1,000	509	2,358	35,118

※合計は表示単位未満を四捨五入した各金額を合計したもの



健全化判断比率・資金不足比率

指標		仙台市 (27年度決算)	政令指定 都市平均 (速報値)	早期 健全化 基準	財政 再生 基準
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字額の、標準財政規模(標準的な一般財源の規模)に対する割合	赤字なし	赤字団体なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	公営企業会計を含む全会計の実質赤字額又は資金不足額の、標準財政規模に対する割合	赤字なし	赤字団体なし	16.25%	30%
実質公債費比率	一般会計等が負担する公債費等の、標準財政規模に対する割合	9.8%	10.9%	25%	35%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する割合	122.8%	124.2%	400%	
公営企業における資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の、事業収入に対する比率	自動車運送事業 3.1% (その他はなし)	4都市4事業で 資金不足発生	経営健全化基準 20%	

いずれも早期健全化基準等を下回っており、昨年度との比較においても改善または横ばいの状況で、おおむね適正な水準にあると言えます。

＜健全化判断比率等の対象＞

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率	一般会計等	一般会計 都市改造事業特別会計 公共用地先行取得事業特別会計 公債管理特別会計 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 新墓園事業特別会計
					公営事業会計	国民健康保険事業特別会計 駐車場事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計
					うち 公営企業会計	(地方公営企業法適用) 下水道事業会計 自動車運送事業会計 高速鉄道事業会計 水道事業会計 ガス事業会計 病院事業会計 (地方公営企業法非適用) 中央卸売市場事業特別会計
					一般事務組合・広域連合	宮城県後期高齢者医療広域連合
					地方公社・第三セクター等	仙台市土地開発公社、仙台市建設公社等

(健全化判断比率)

※政令指定都市平均(速報値)は総務省公表資料より

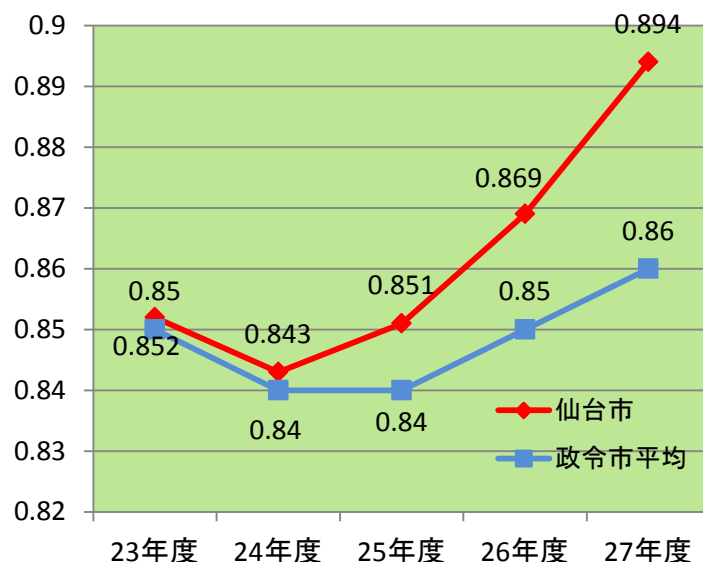
※早期健全化基準及び財政再生基準は仙台市(政令指定都市)への適用基準



財政力指数・経常収支比率等

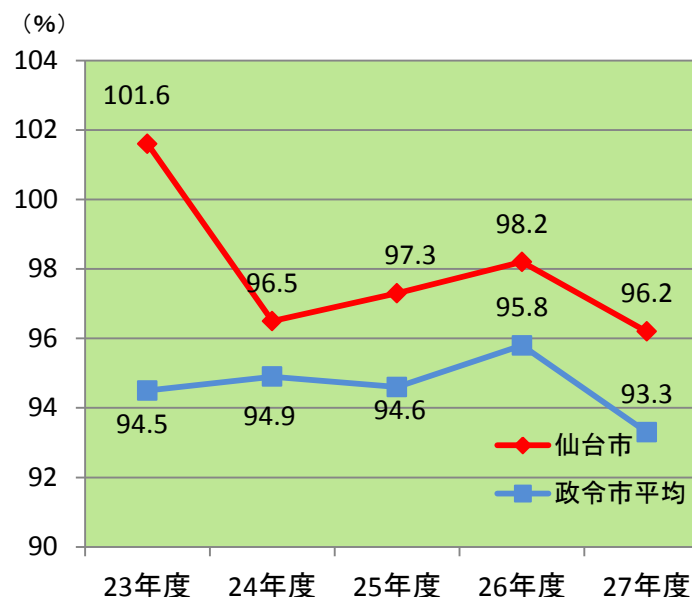
財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数の1つで、この指数が高いほど財源に余裕があるといえます。



経常収支比率

財政構造の弾力性を示す比率で、この比率が高いほど、政策的な経費に回す余裕がないことを表します。



債務負担行為額

平成27年度末における債務負担行為額(普通会計)は約1,593億円で、前年度末に比べ約21億円減少しています。

主な設定項目として、児童厚生施設運営管理や道路新設改良事業があります。

新地方公会計制度に基づく財務諸表

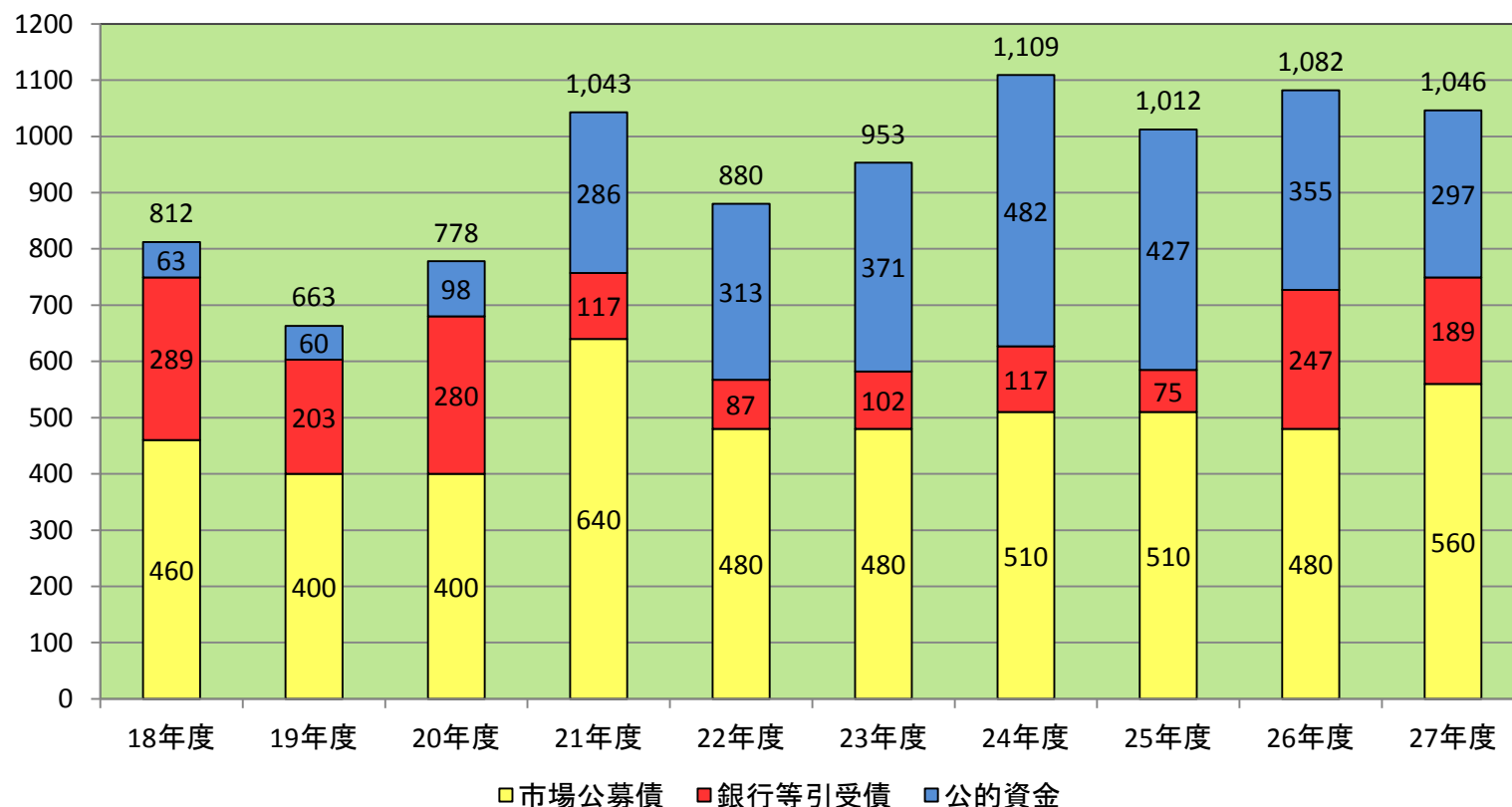
仙台市では、「新地方公会計制度研究会報告書」に定める「総務省方式改訂モデル」により、普通会計にかかる貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表を作成し、仙台市HPに速報版と確定版を随時掲載しています。



市債発行の状況 (一般会計＋特別会計)

平成27年度における市債発行額は、復興公営住宅建設にかかる借入の減少等により、対前年度比△3.3% (約36億円減) となりました。資金調達先は、市場公募債 (53.5%)、銀行等引受債 (18.1%)、公的資金 (28.4%) となっています。

(億円)

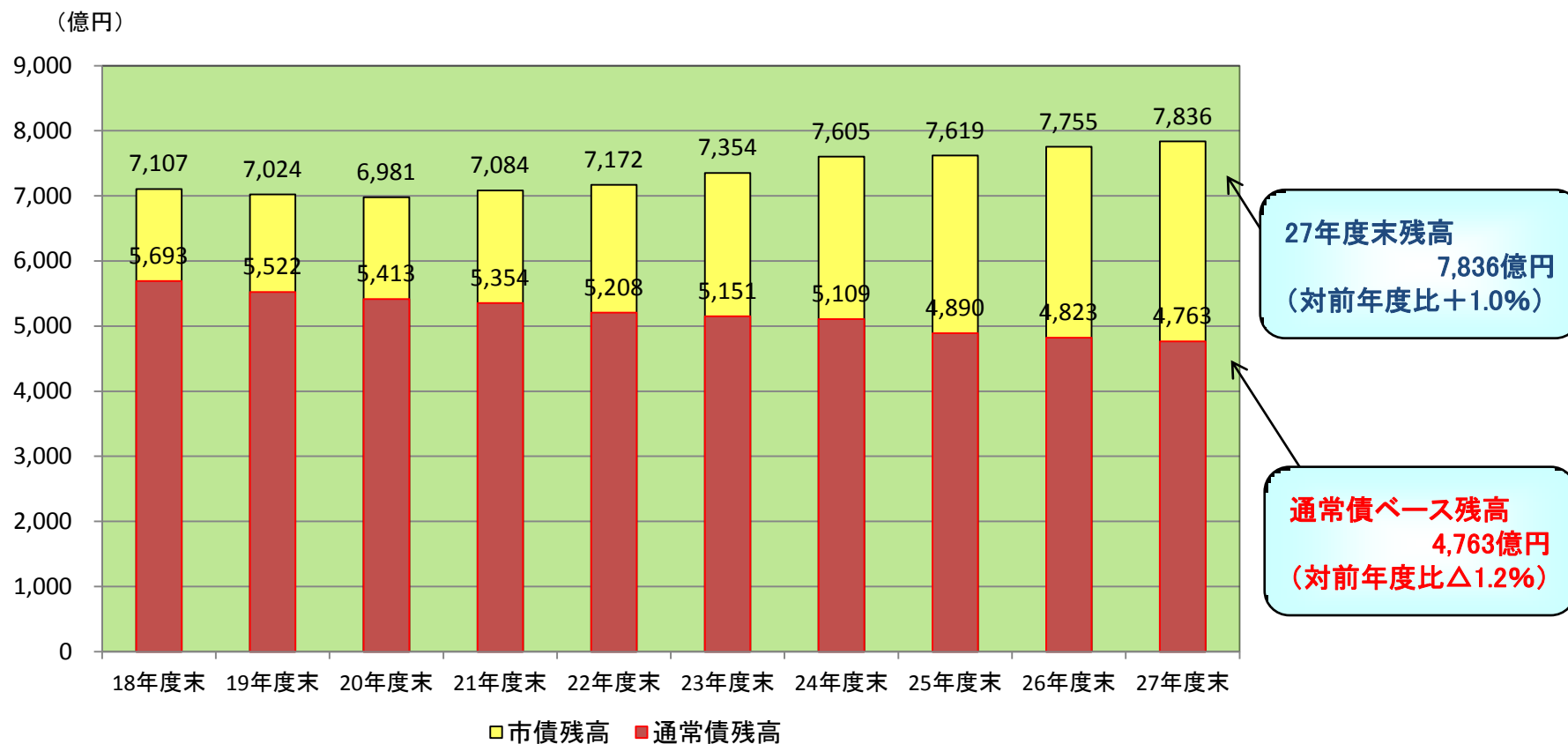




普通会計市債残高の推移

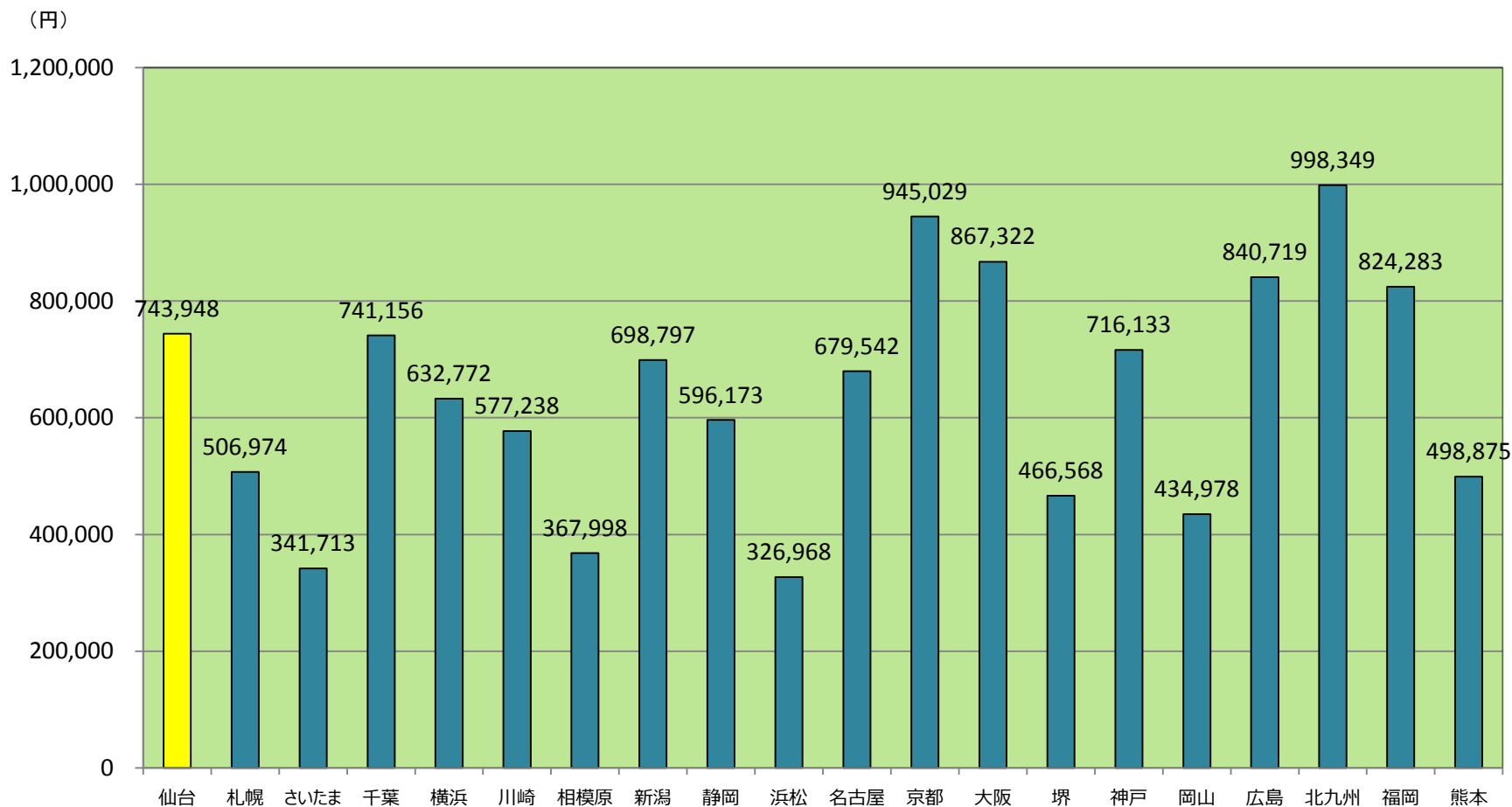
本市では、市債発行額の着実な抑制に取り組んでおり、市債（通常債※）残高は減少基調にあります。

※通常債…地方交付税の不足分を補うために発行する臨時財政対策債等を除いた市債のことです。





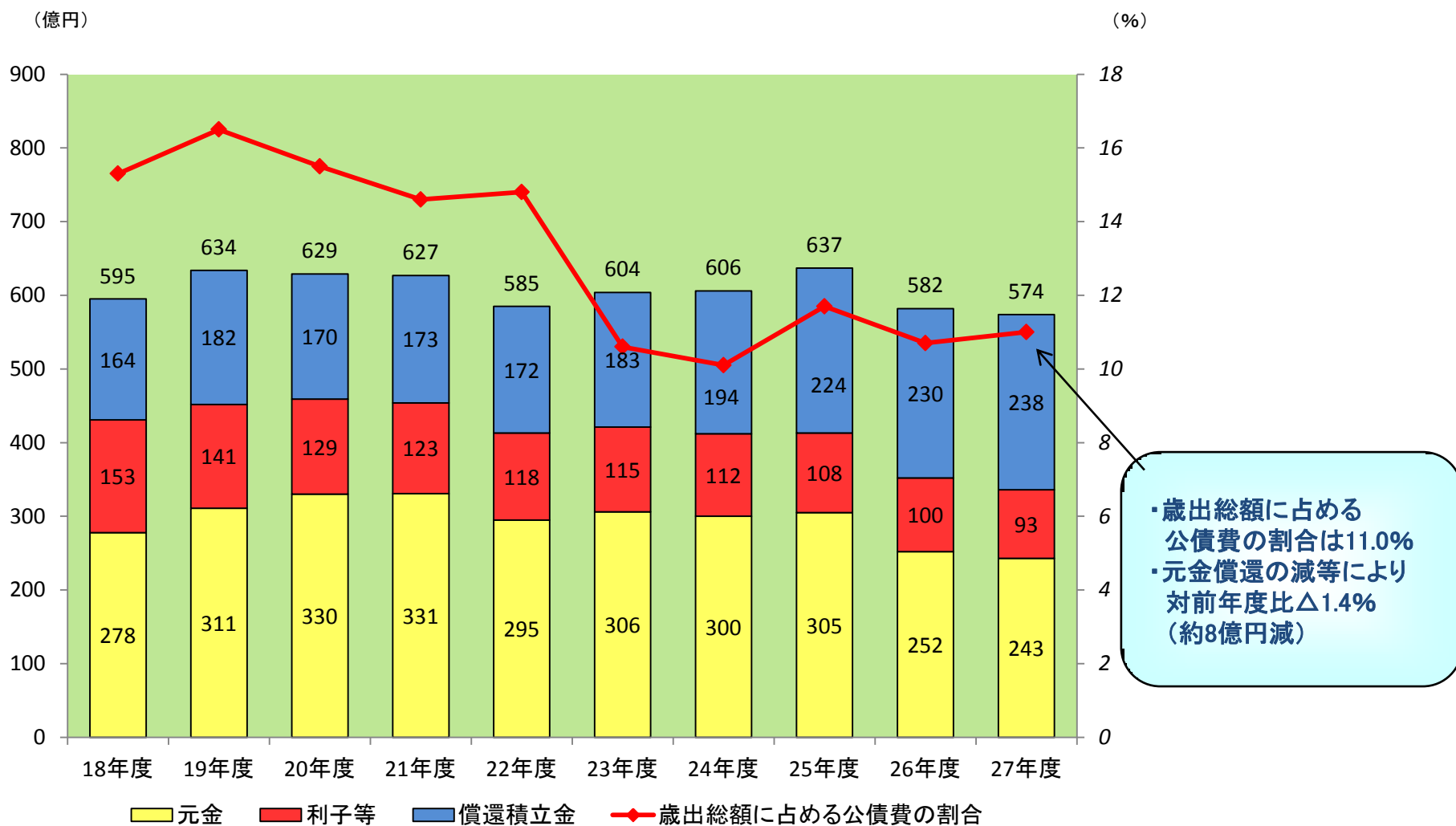
市民一人当たり市債残高 (普通会計)



(平成27年度末速報値、仙台市作成)



一般会計公債費の推移





各種基金の状況

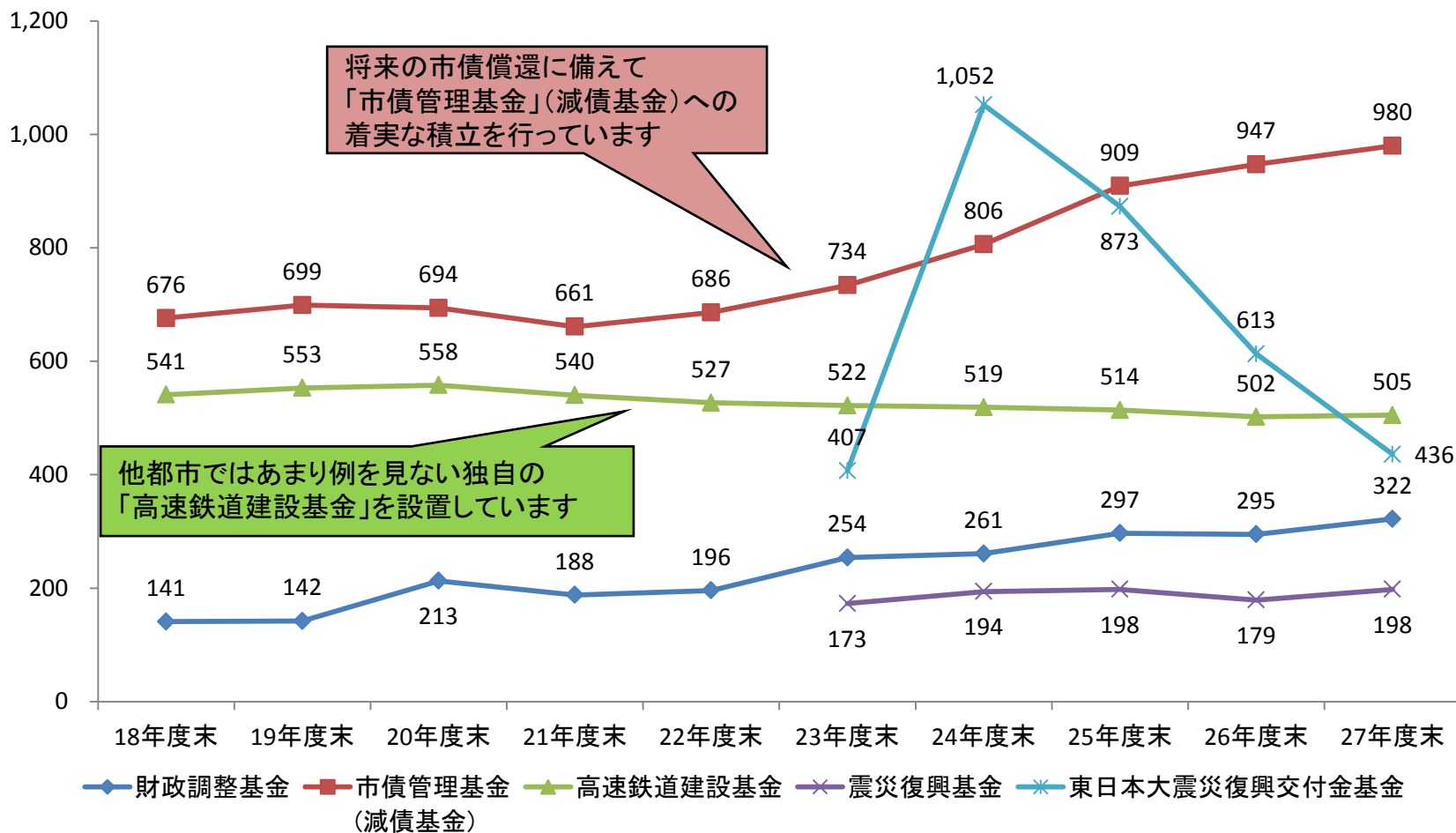
【平成27年度末残高（単位:億円）】

基金名	残高	基金の概要
財政調整基金	322	財源の過不足等を調整するための基金
市債管理基金	980	市債の償還の財源を計画的に確保するための基金
高速鉄道建設基金	505	高速鉄道の建設、運営及び関連事業に必要な資金を積み立てるための基金
百年の杜づくり推進基金	14	市街地や周辺地域での緑の保全及び創出に関する施策の推進のための基金
環境保全基金	13	地域に根ざした環境保全活動を展開するための基金
福祉基金	15	福祉事業の推進を図るための基金
文化振興基金	15	文化施設の整備及び文化活動の推進のための基金
仙台城史跡整備基金	6	仙台城の史跡の保存及び活用を推進するための基金
公共施設長寿命化推進基金	50	公共施設の長寿命化に関する事業の推進を図るための基金
土地開発基金	183	公共用地などをあらかじめ取得するための基金
国民健康保険事業財政調整基金	2	国民健康保険事業の財政調整のための基金
介護保険事業財政調整基金	28	介護保険事業の財政調整のための基金
震災復興基金	198	東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るための市の独自基金
東日本大震災復興交付金基金	436	復興特区法に規定する復興交付金事業等に必要な資金を積み立てるための基金
中小企業活性化基金	30	中小企業の活性化に関する事業の総合的な推進を図るための基金
合計	2,797	

主な基金残高の推移



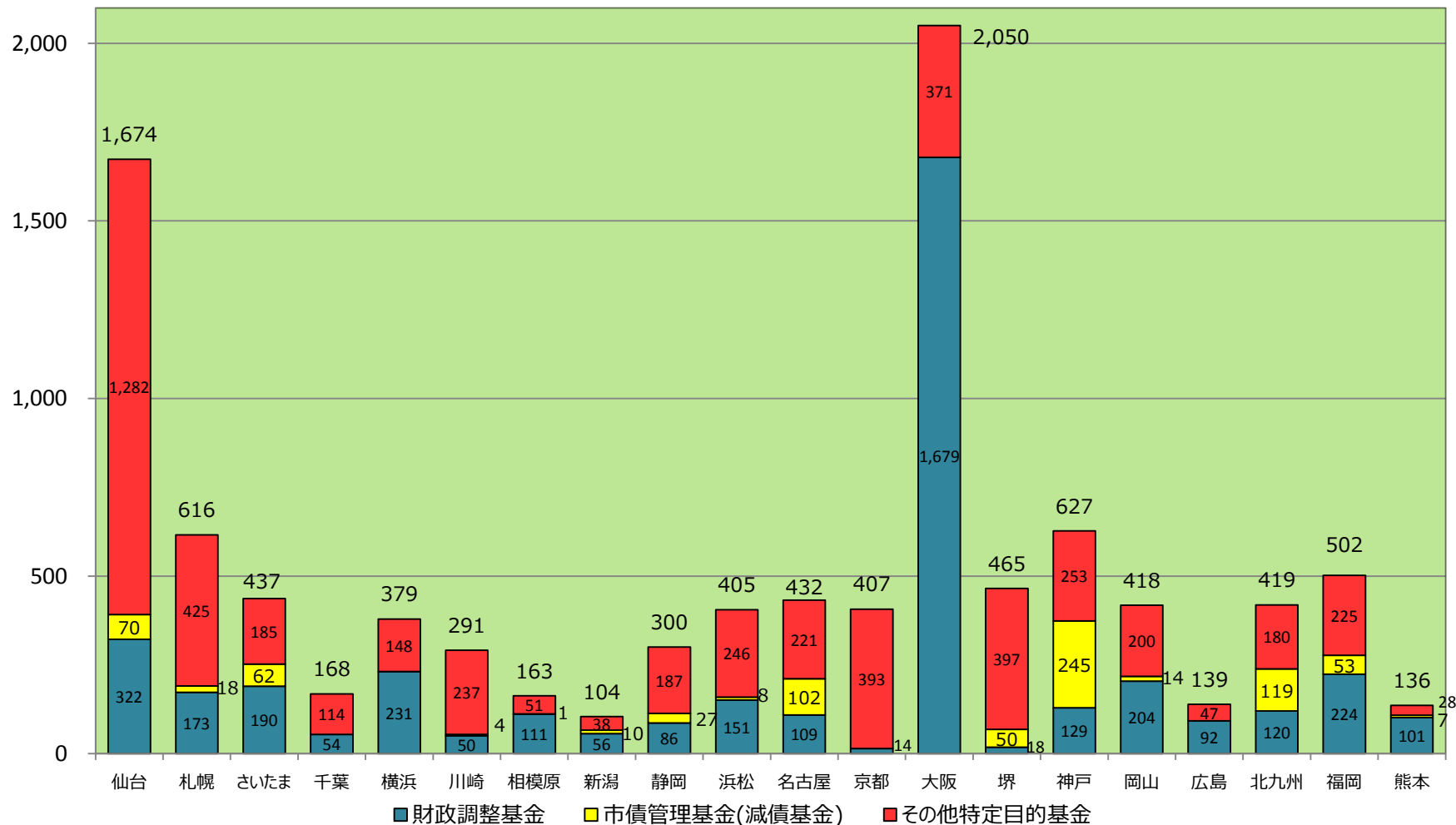
(億円)





基金残高の他都市比較 (普通会計)

(億円)





仙台市行財政改革推進プラン2016

仙台市では、平成7年以来、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的で効果的な行財政運営に向けた取組みを始めとするさまざまな行財政改革に取り組んできました。

今後、「**仙台市行財政改革推進プラン2016**」(計画期間＝平成28年度～平成33年度当初)に基づき、震災からの復興や人口減少・少子高齢社会に向けた対策、魅力と活力のあるまちづくりなど、様々な課題を解決するために欠かせないしっかりとした行財政運営基盤を構築していくこととしています。

この計画においては、3つの実施方針の下、各般にわたる取組みの着実な推進を図ることとしており、約160億円の効果額を見込んでいます。

3つの実施方針と主な取組み項目

1 将来を見据えた攻めの行財政運営

- 中長期的視点を重視した取組み(公共施設総合マネジメントプランの推進等)
- 効率的・効果的な行財政運営
(財政健全化、収納率の向上、事務事業の見直し、民間活力による事業の推進等)

2 市民とともに行うまちづくり

- ともに行うまちづくりに向けた取組み(多様な主体の活動の促進、仕組みづくり等)
- 区役所の機能強化・地域課題解決に向けた取組み
(町内会を始めとする地域団体等による地域課題の解決に向けた取組みの推進等)

3 職員の力を最大限生かした市政運営

- 職員の意識改革・組織風土の見直しに向けた取組み
(コンプライアンス意識の浸透や定着を図る取組み、風通しのよい職場づくり等)
- 職員の力を引き出す取組み(人材育成による職員の能力向上、職員の意欲向上に繋がる環境整備等)



外郭団体の状況

仙台市が1／4以上出資する団体は、平成27年度決算時点で株式会社、財団法人等合わせて26団体となっています。

これらについては、予算・決算状況の公表などの情報の公開に努めているほか、健全経営を継続することなどを目的に、「**外郭団体の指導・調整等に関する指針**」を定め、定期的な経営状況の調査や必要な指導などを行うとともに、「**経営評価シート**」を公表しています。

また、公認会計士等外部の専門家で構成する「**外郭団体経営検討委員会**」において、決算に基づき、経営状況の評価を行っています。

仙台市の外郭団体は、事業の弾力的、効率的運営を図るため、市民利用施設の管理運営や種々の公益事業を行っています。さらに効率的な事業展開を進めるため、①**外郭団体の統廃合等**、②**事業運営の見直し**、③**組織の活性化**、④**情報公開の推進**に取り組み、管理運営の適正化を図っていきます。

【主な統廃合】

- H28 仙台市土地開発公社の解散(予定)
- H27 (公財)仙台国際交流協会と(公財)仙台観光コンベンション協会の統合
- H26 (財)仙台湾漁業振興基金と(財)仙台市農業園芸振興協会の解散
- H25 (財)仙台市障害者福祉協会の解散
- H24 (公財)仙台ひと・まち交流財団と(財)勤労者福祉協会の統合
- H23 (株)仙台交通と(財)交通事業振興公社の統合
- H21 (財)勤労者職業福祉センターの廃止
- H16 (財)市民文化事業団と(財)歴史文化事業団の統合



外郭団体の平成27年度決算状況

外 郭 団 体	出資 比率	正味財産 増減額 又は 純損益 (千円)	市補助 金額 (千円)	損失補償に 係る 債務残高 (千円)	外 郭 団 体	出資 比率	正味財産 増減額 又は 純損益 (千円)	市補助 金額 (千円)	損失補償に 係る 債務残高 (千円)
仙台市土地開発公社	100.0%	29,643	14,707	0	(公財)瑞鳳殿	65.6%	4,897	0	0
(公財)仙台ひと・まち交流財団	100.0%	33,861	77,445	0	(公財)仙台市スポーツ振興事業団	100.0%	27,370	198,606	0
(株)たいはつくる	25.0%	3,366	0	0	(公財)仙台市市民文化事業団	100.0%	27,778	501,403	0
(公財)せんだい男女共同参画財団	100.0%	3,236	39,110	0	(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団	78.5%	32,502	317,918	0
(社福)緑仙会	99.0%	0	0	0	(公財)仙台市建設公社	50.0%	△ 5,366	6,194	259,074
(公財)仙台市健康福祉事業団	100.0%	4,485	184,486	0	(公財)仙台市公園緑地協会	50.0%	14,318	15,774	0
(公財)仙台市医療センター	60.0%	300,881	652,960	0	(公財)仙台市水道サービス公社	49.5%	△ 10,634	0	0
(公財)仙台市救急医療事業団	100.0%	3,672	0	0	仙台交通(株)	100.0%	2,377	0	0
(株)仙台市環境整備公社	50.0%	41,719	0	0	仙台ガスサービス(株)	100.0%	1,144	0	0
(公財)仙台市産業振興事業団	100.0%	△ 30,582	380,544	0	仙台ガスエンジニアリング(株)	100.0%	70,194	0	0
(株)仙台ソフトウェアセンター	31.3%	△ 288,037	0	0	仙台エルピーガス(株)	48.0%	10,637	0	0
(一財)みやぎ産業交流センター	25.3%	7,159	0	0	(株)クリーンエナジー	46.7%	5,489	0	0
(株)仙台港貿易促進センター	32.5%	29,264	0	0	計		311,984	2,817,019	259,074
(公財)仙台観光国際協会	54.7%	△ 7,389	427,872	0					

土地開発公社の状況



保有資産の状況(平成27年度末)

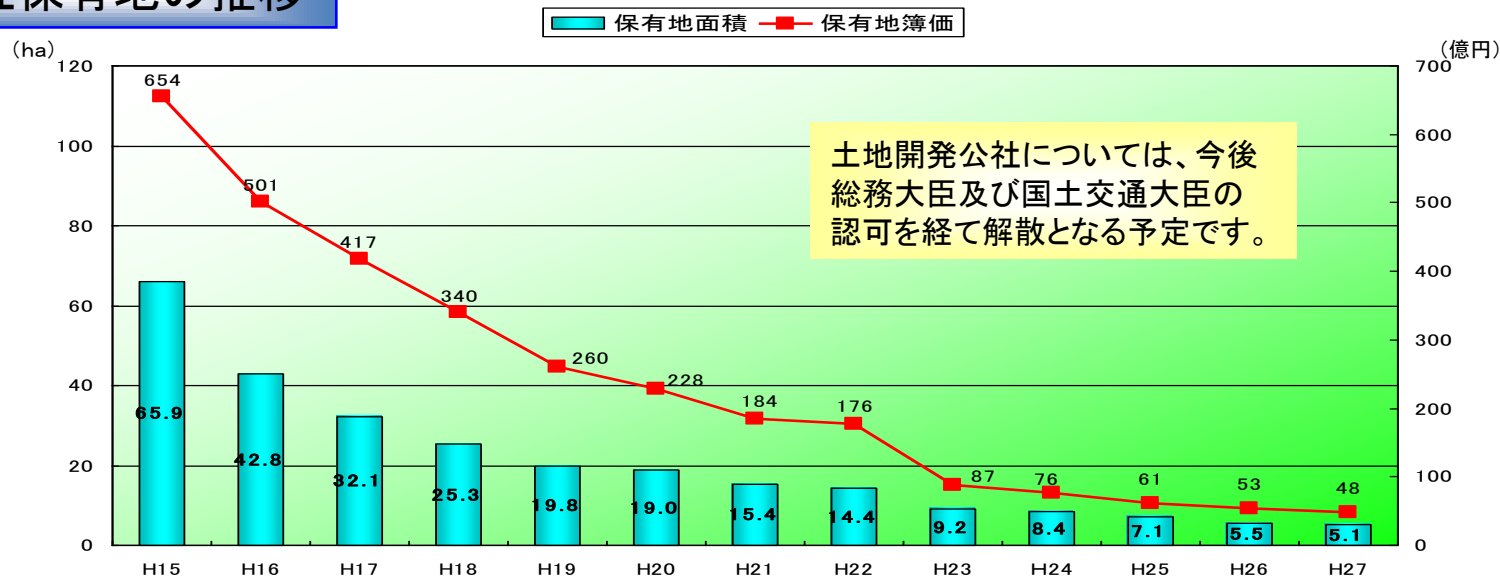
◎保有土地

資産区分	面積(㎡)	簿価(千円)
道路用地	81	109,102
学校用地	23,119	3,253,121
公園用地	0	0
その他公共施設用地	8,868	852,163
代替地	19,169	634,150
合計	51,237	4,848,536

◎5年以上保有土地(代替地を含む)

資産区分	平成26年度末		平成27年度末	
	面積(㎡)	簿価(千円)	面積(㎡)	簿価(千円)
5年以上10年未満	327	159,330	12	1,329
10年以上	54,366	5,182,780	51,225	4,847,207
合計	54,693	5,342,110	51,237	4,848,536

公社保有地の推移





仙台市公共施設総合マネジメントプラン

仙台市では、平成26年3月に、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を策定しました。

公共施設を取巻く環境を踏まえたうえで、施設の老朽化による更新・維持管理コスト増大、人口構造の変化への対応等、さまざまな課題に的確に対応することにより、安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供することを目的としています。

基本方針

①「大切に長く使う」

整備拡張型から現有施設活用型への転換

②「効率的に使う・つくる」

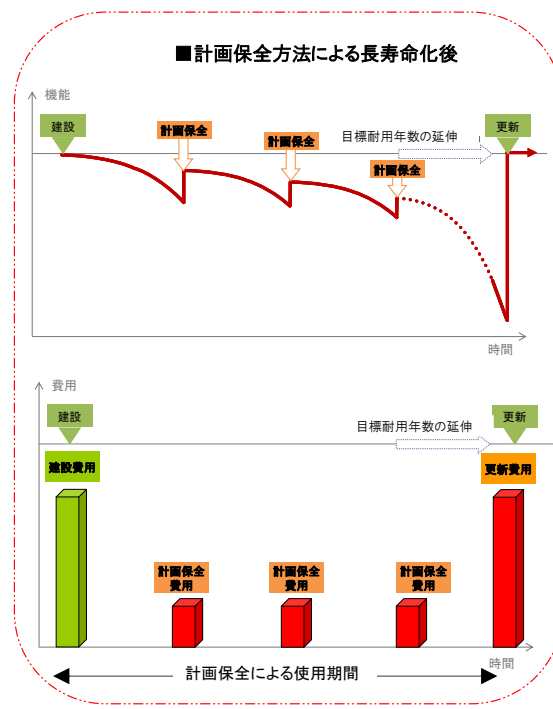
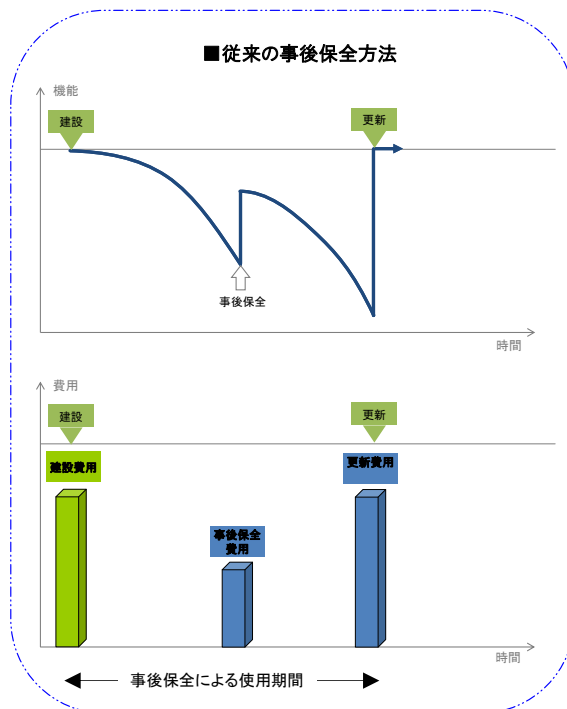
施設機能に着目した管理・整備手法や民間活力の導入

③「総合的に進める」

推進体制の整備

※長寿命化のイメージ

こわれた後で直す【事後保全】⇒大切に長く使う【計画保全】





平成28年2月試算

今後の財政見通し(普通会計ベース)

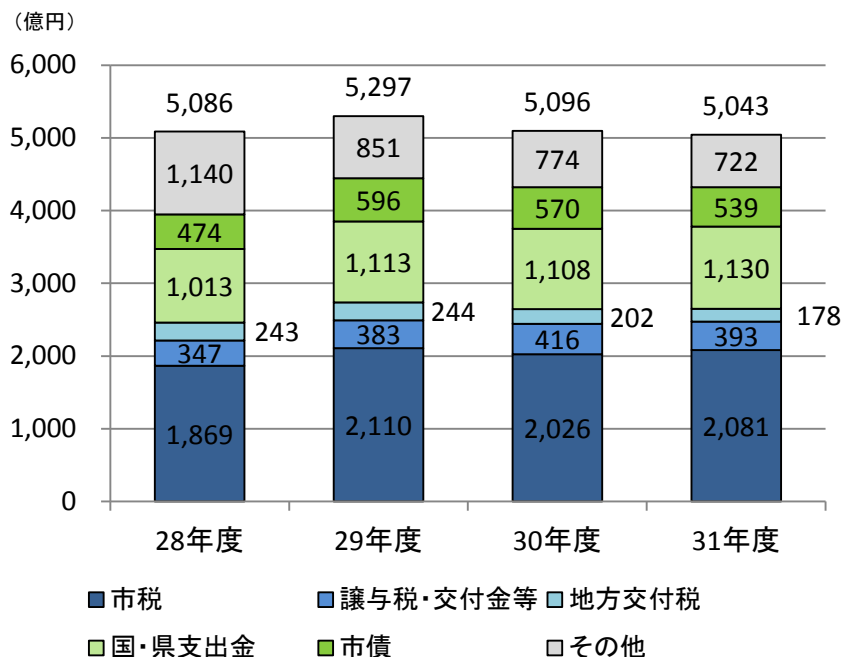
■歳入の見通し

市税収入は震災前の水準を上回り堅調に推移するほか、県費負担教職員制度の権限移譲に伴う税源移譲などにより増加しますが、これと連動した普通交付税の減少や、復興事業に要する繰入金の減少などのため、総額はほぼ横ばいとなる見通し

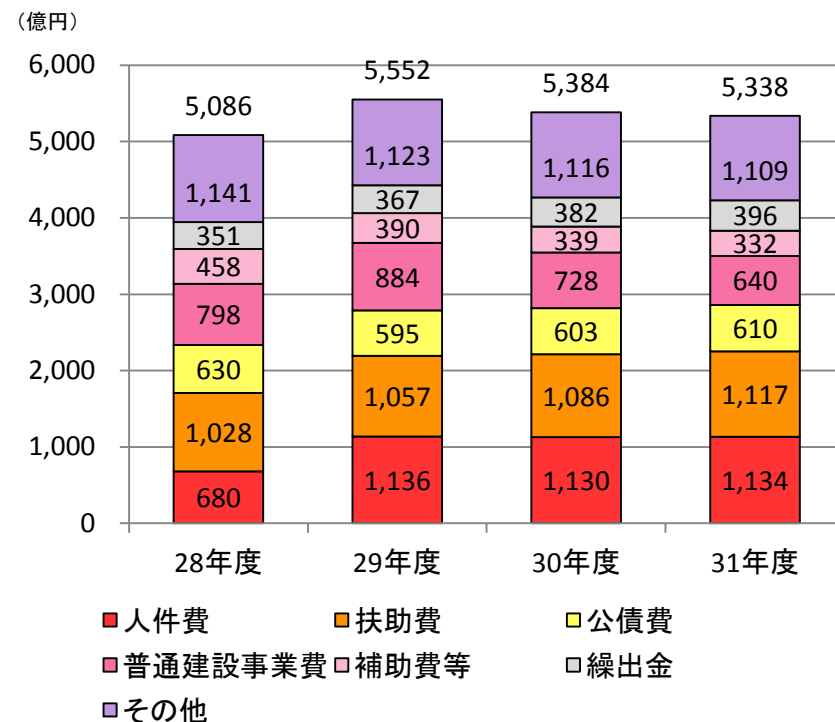
■歳出の見通し

投資的経費は復興事業が減少するものの、公共施設の長寿命化対策などにより震災前をやや上回る水準で推移するほか、福祉関係費等の確実な増加や県費負担教職員の権限移譲に伴う人件費の増加などにより、総額は増加に転じる見通し

歳入の見通し



歳出の見通し





平成28年度市場公募地方債発行計画

(単位: 億円)

銘柄	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
共同発行 (10年)	60	30	30	30	30	30	30	30	30		30	30	360
個別発行 (5年)										150			150
合計	60	30	30	30	30	30	30	30	30	150	30	30	510

仙台市債 個別発行実績 = 「いずれも1月に発行」

平成25年度 (条件決定日: 平成26年1月10日) (発行日: 平成26年1月29日)				平成26年度 (条件決定日: 平成27年1月9日) (発行日: 平成27年1月28日)				平成27年度 (条件決定日: 平成28年1月8日) (発行日: 平成28年1月27日)			
年限	発行額	表面利率	発行価格	年限	発行額	表面利率	発行価格	年限	発行額	表面利率	発行価格
5年	150億円	0.24%	99.95円	5年	150億円	0.101%	100.00円	5年	150億円	0.101%	100.00円

【本資料に関するお問い合わせ先】

仙台市財政局財政課資金係

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-8112

FAX 022-262-6709

E-mail zai003010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/> (トップページ)

<http://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/>
(仙台市の財政)